

アレムコボンド 2315X

「アレムコボンド 2315X」は米国アレムコプロダクツ社が開発した熱伝導性に優れたエポキシ系接着剤です。従来のアレムコボンド2315の性能はそのままにクラック耐性と接着強度を改善しました。耐熱上限は185℃です。

特 性

「アレムコボンド 2315X」は粘性が低く、黒色で耐熱性に富んだエポキシ接着剤です。熱伝導性が高く、焼成後の収縮率も低く、絶縁性も優れています。また、アウトガスが少なくNASAの基準に適合しています。熱伝導性1.2 W/m·K、たわみ強度12,300 psi、絶縁性480 volts/mil、体積固有抵抗値 1.0×10^{16} ohm·cm(室温)、誘電正接4.7 (at 1kHz)です。耐薬品性は良好で、酸、アルカリ、有機溶剤、塩への耐性が優れています。

「アレムコボンド 2315」は高密度パッケージ電源、レクティブファイア、集積回路、厚膜複合デバイス、デジタル・アナログ・コンバータ、発振器、アンプ、リレー、トランスと半導体などのポッティング及びカプセル化に有用です。

用い方

「アレムコボンド 2315」は、重量比で樹脂ベースB100に対し、硬化剤A25を混合します。混合時の粘度は4,000 cP、ポットライフは100グラムの場合、常温で8時間です。接着後、71℃で2時間、次いで149℃で2時間と段階的に焼成します。あるいは、105℃で4時間焼成でも硬化します。

尚、真空中で使用する場合は、アウトガスを出し切るために通常の焼成後に更に125℃で4時間以上焼成してください。

荷 姿

1ペイント (約 500ml)と 1クオート (約 1リットル)の広口缶入り。
(いずれもベースと硬化剤を合わせた総量です。)